

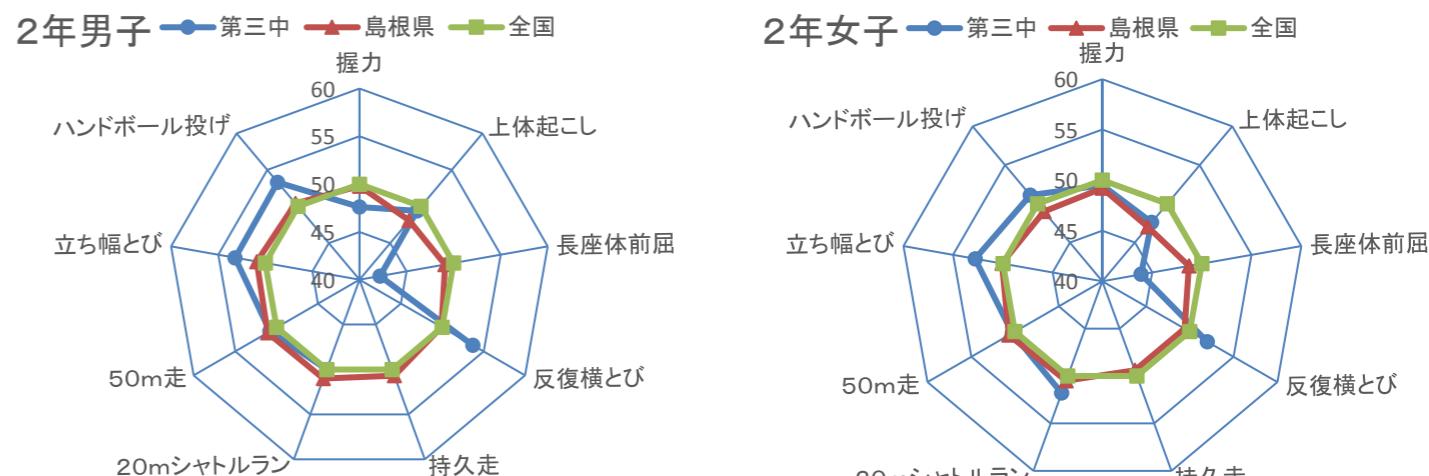
# 令和元年度 体力・運動能力調査結果及び分析・対策(松江市立第三中学校)

令和2年3月25日

## (1)生徒の体力の現状

- 全国平均と比較してみると、2年生男子は、反復横跳び、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げの4種目が上回っている。
- 全国平均と比較してみると、2年生女子は、反復横跳び、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げの5種目が上回っている。
- 全国平均と比較してみると、2年生男子は、握力、上体起こし、長座体前屈、シャトルランが下回っている。
- 全国平均と比較してみると、2年生女子は、握力、上体起こし、長座体前屈が下回っている。
- 全国平均と比較して、男女共通して特に柔軟性が大きく下回っている。

## (4)2年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



## (2)令和元年度の具体目標の達成状況と課題

- 2年生男子では、昨年度全国平均を下回っていた種目が、今年度全国平均を上回ったという種目は、反復横跳び、立ち幅跳びの2種目であった。
- 2年生女子では、昨年度全国平均を下回っていた種目が、今年度全国平均を上回ったという種目は、ハンドボール投げの1種目であった。
- 全体的に走力については、日々の取組の成果が現れていると思われる。
- 2年生男子では、昨年度全国平均を上回っていた種目が、今年度全国平均を下回ったという種目は、上体起こし、50m走の2種目であった。
- 2年生女子では、昨年度全国平均を上回っていた種目が、今年度全国平均を下回ったという種目は、上体起こし、長座体前屈、50m走の3種目であった。
- 特に柔軟性については、今後の柔軟体操のあり方を検討していかなければならぬ。

## (3)令和元年度の取組【対策】

### ①学校における取組

- ・体育の授業における体力づくり運動の継続と改善(目標設定)
- ・班活動を中心とした仲間との関わりを持つことができる授業内容の工夫
- ・部活動の充実
- ・小中の連携
- ②地域や家庭との連携による取組
- ・部活動の充実
- ・メディアコントロールの習慣化と生活リズムの安定及び学習時間の確保
- ③体力向上をめざした生活習慣の確立、食育推進の取組
- ・自己の体力の現状を理解させ、進んで体力づくり運動を行うことができる生徒の育成
- ・朝食の大切さと栄養バランスを考えた食の指導

調査実施者数(人) 1年(男子42・女子38) 2年(男子32・女子39) 3年(男子51・女子32)

## (5)全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査 2年生意識調査の結果

(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)

